

立心ゼミナール Q&A

Q1 体験受講や入会したい場合の手続きはどのようにすればいいですか？

A1 まずはお電話にて「体験・入会個別面談」のご予約をお願いします。

当塾では、私たちが自信を持って担当する学習指導を体験していただくとともに、塾や在籍塾生の雰囲気やお子様の講師との相性をしっかり見極めたうえで入会していただくため、入会希望者には必ず体験受講をしていただいています。

最初に連絡をいただいた後、事前面談にてお子様の様子や学習状況を伺い、その後体験受講を行います。小中学生の場合は、原則としてお子様と保護者様と講師の三者面談とします。面談にて体験受講の日程を決めます。**体験期間は1週間（小中学生）または10日間（高校生）です。**夏期講習や冬期講習は「有料の体験期間」とお考えください。季節講習から参加した方は、講習終了後に継続する場合に本入会となり、入会金と半期管理費等が必要になります。通常期間の無料体験期間にてお子様が塾に合わないと思われる場合は本入会となりませんので、一切の費用はいただきません。

Q2 立心ゼミナールではどのような指導形態ですか？

A2 数英を中心にフォローが必要なときに個別指導を行う「自立学習指導」です。

当塾の役割はお子様の学習行動を促し、定期テストなどで結果を出すことで、それぞれの生徒の自己肯定感を高めることにあります。また、その結果として入試で力を発揮し、その子の進路志望の実現を目指します。保護者様が最も通塾で気になることは、「うちの子にその塾が合っているのか？そして通塾による効果があるのか？」ということです。塾は指導方法で分類すると大きくは「集団指導（クラス指導）」「個別指導」「映像指導」、そして全国的に認知されつつある「自立指導」に分けられます。集団指導と個別指導のスタイルはイメージしやすいのですが、「自立指導」は「自習」と勘違いされがちです。「自立指導」を簡単に表現するならば「それぞれの生徒の学習目標を、講師（コーチ）の管理の元で、自らの計画に沿って学習するスタイル」と言えます。**普段の学習はなかなか進められなくても、今やるべきことを明確にしてもらえれば、自ら進められるタイプのお子様や、明確に志望校が決まっています基本的には自学を進められる子に適している指導スタイルです。逆に常に先生についてもらわないと学習が進められない傾向のあるお子様の場合は個別指導が適しています。**

当塾は個々の生徒の学習状況を把握しながら、その子の目標に合わせた学習プランを提供する「学習管理型の自立指導」が中心です。ただし中3受験生や外部講師のイベント時は集団指導も取り入れ、生徒が講師に質問するときは、個別指導にもなります。また、映像授業も活用します。それぞれのスタイルには下の表のようにメリット、デメリットがあります。塾選びで大切な点は「どの指導形態が一番良いかということではなく、どれが本人に適するかどうか」です。同じ指導形態でもA塾は合わず、B塾はよかったということがあります。これは指導形態よりも担当講師の熱意やほか生徒の様子など、塾内の雰囲気が大きく影響します。しかし、それらのことは通ってみないことにはわかりません。ですから当塾では体験される前にお子様の状況等をヒアリングした上で体験受講を受けていただき、当塾の指導や塾内の雰囲気などにも納得された上で入会の手続きを始めることとなります。

〔 一般的な指導形態とリゼミの指導形態の比較 〕

指導スタイル	講師数：生徒数	指導方法	通塾曜日・時間	個々の学習管理	メリット	デメリット
集団指導	1対10～1対30	一斉指導	選びにくい (曜日、時間固定)	あまりしない	成績上位者は競争原理が働きやすい	授業のレベルが合わない、学習効果薄
個別指導	1対1～1対5	個別指導	選びやすい	指導教科のみ管理を行う	その子に合わせた内容で指導ができる	競争原理が働きにくく、入試に弱い
映像指導	1対10～1対30	映像学習	選びやすい	受講する映像授業の管理	有名講師による指導 速習による効率化	従量課金制で受講料が高額になる
リゼミの自立指導	(小) 1対5まで (中) 1対5～15 (高) 1対10～15	個別指導	選びやすい	生徒の志望校や学力に応じて全科目で管理	生徒の通塾目的や生活スタイルに合わせて学習を進められる	講師への依存心が高い生徒ほど学習効果が低くなる

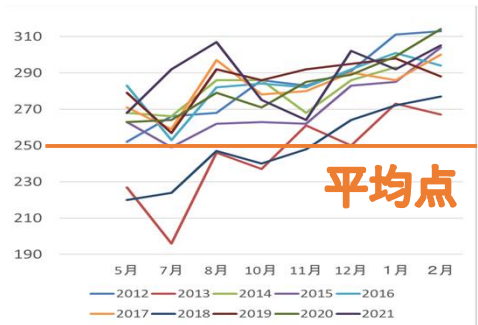
Q3 リゼミに通えば成績は上がりますか？（中学生）

A3 塾を効果的に利用することで成績は上がります。

一般的な塾選びの基準の1つに「合格実績や成績上昇実績」があります。高校受験において受験校決定の指標にするのは、学校で実施する実力テストや塾等で実施する模試の結果です。当塾は新潟県統一模試（統一模試）を採用していますが、出題範囲が広い日ごろの学習の定着度を量ることができる、また定期テストで点数が高くても実力テストや模試で点数が取れないなど思わぬ弱点に気づくことができる、そして学校より大きい母数の中で自分の位置を計る重要な尺度になります。

ここで当塾の中3統一模試5教科合計平均値を10年分を示します。統一模試の全県の平均値は公立高校入試と同じく常に250点（500点満点）になるように作問されていますので、受験勉強を重ねてもそれに応じて難易度も変化するため、全体の平均点は変化しません。リゼミ生は中3の7月までは平均より下回る年度もありますが、月数を重ねると、どの年度も上昇していることがわかります。

リゼミ新潟県統一模試推移(得点)



【国立大学】

大阪、北海道、東北、筑波、千葉、東京外語、横浜国立、金沢、新潟、長岡技術、静岡、山形、秋田、福島、富山、東京都立、新潟県立、秋田県立、福井県立、埼玉県立、高崎経済、長野、山形県立保健医療

【私立大】

早稲田、慶應義塾、上智、東京理科大学、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、立命館、明治学院、芝浦工業、日本、東洋、駒澤、専修、順天堂、大東文化、東海、龍谷、東京都立、北里、東邦、工学院、新潟薬科、桜美林、大妻女子、実践女子、フェリス、杏林、金沢工業、獨協、淑徳、群馬医療福祉、新潟青陵、新潟医療福祉、新潟工科 他

【高校】

新潟、三条、巻、三条東、新潟西、加茂、県立工業、新潟明訓、新潟第一、八王子、北越、中越、日本文理 他

【中学】

燕中等、新大附属長岡

Q4 通塾の回数や時間はどのように決めればよいのでしょうか？

A4 その子の学年や成績状況、目標によって変わりますので、ご相談ください。

リゼミを利用する生徒について小学生、中学生、高校生別にご紹介します。

【小学生】

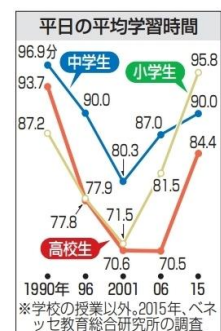
小学生は水泳や英会話、そろばんなど他の習い事をしている場合が多数です。また、保護者様の送迎の都合もありますので、それぞれの生活スタイルをなるべく変えないのであれば、まずは週1回1日2コマ（50分×2コマ×1日）もしくは週2回1日1コマ（50分×1コマ×2日）での通塾で最低限度の学習習慣を身に付けます。通塾に慣れてから、または中学校になってから、学年上位、その後難関高校や大学を目指す場合は担当講師と相談の上、受講コマ数を増やすとよいでしょう。

【中学生】

中学生は部活動中心の生活に通塾をきちんと組み込むことが大切です。現時点の学力と目標高校合格との差を考慮して、週2回にするか、3回にするかを三者面談時に話し合いの上決定します。また、目標については志望高校が決まっていなくても、リゼミ講師がお子様と普段の会話を通じて提案します。春の時点では「学校の生活リズムがわからないから少なめにしたい」と考える方も少なくありませんが、一度最低ラインの学習リズムに慣れると、その後で通塾回数を増やす必要性が生じても、お子様の中に葛藤が生じ反発するケースがあります。ですから、私たち講師が保護者様の要望を聞いた上で、お子様や保護者様と相談して受講回数を増減していきます。もちろん、テスト前などに、「自習室にも毎日おいで」と促すこともあります。

【高校生】

大学進学実績がある高校ほど、「学習時間を増やす」ことを学校から求められます。特に国公立大志望者は受験科目が私立大よりも多くなるため、成果を出すための学習量が多くなる傾向になります。当たり前ですが、学習時間が増えることで学習量が増え、結果として学習の質の向上につながります。しかし特に運動部に所属している生徒では、帰宅後は疲れて学習が思うようにはかどらないケースがあります。部活終了後に帰宅前に塾に寄り、曜日と時間を決めて利用する、毎日利用するなど日々の生活スタイルに合わせてリゼミを活用してください。



Q5 欠席や遅刻の場合はどのようにすればよいですか？

A5 小・中学生は保護者様がLINEまたは電話にてご連絡ください。高校生は連絡不要です。

部活や旅行など、あらかじめ欠席することがわかっている場合は、通塾時に担当講師にお知らせください。また、病気等で欠席する場合は、当日で結構ですので保護者様がLINEまたはお電話にてご連絡ください。なお、欠席した分は原則、振替日にて補習を行います。高校生の場合、通塾曜日が決まっていないので、一定期間連絡がないまま来校しない場合は、担当講師より生徒に直接連絡いたします。また、暴風・暴風雪・雷・洪水等警報が発令され、通塾時間で解除になっていない場合は、安全のため当日の授業を実施しない場合があります。その際はLINEやメールでお知らせしますが、判断が難しいときは通塾の前にご確認をお願いします。

Q6 新型コロナウイルス等による通塾の判断はどうすればよいですか？

A6 下記詳細をご確認いただき、担当講師にご連絡ください。（守秘義務は守られます）

コロナウイルスによって学校が休校や学級（学年）閉鎖になった場合の通塾のガイドラインは次のとおりです。欠席期間が長期にわたる場合はオンラインでの対応にすることができます。なお、変異株の発生等により本ガイドラインが変更になる場合がありますので、詳細は担当講師にご相談ください。

【通塾をお控えいただく場合】

- ・本人が感染、または濃厚接触者に該当した場合。
- ・学校が休校等になり、生徒本人が濃厚接触者に該当するかどうかまだ判明しない場合。
- ・本人が感染していなくても、ご家族が感染、または濃厚接触者に該当する場合。
- ・ご家族が感染していなくても、ご家族の職場やご兄弟の学校等で感染者が出て、濃厚接触者であるかどうかまだ判明しない場合。

【通塾できる場合】

- ・本人、ご家族とも感染者や濃厚接触者に該当しない場合。



Q7 塾の開校時間や休校日を教えてください。

A7 入会説明時、もしくは毎月送付する「月間予定表」でご確認ください。

日・祝日は原則休校日ですが、各種試験前などには休校日でも開校する場合、また回数調整のため休校（休講）する場合がございます。毎月送付する「月間予定表」に2か月分の開校日時を記載していますので、到着後よくご確認ください。「月間予定表」はリゼM I N Eでも配信いたします。また、プランに変更がある場合は、お子様を通じてご連絡いたします。

Q8 高校生ですが、学校に近い校舎と自宅に近い校舎ではどちらを選べばよいですか？

A8 生活スタイルで利用しやすい方や校舎の雰囲気自分に適している方をお選びください。

例えば自宅が「つばめ吉田校」や「東三条本校」に近くて「三高前予備校」のすぐ前にある三条高校に通う生徒は、通塾する校舎で迷う場合があります。そのときは、体験等でそれぞれの校舎を利用して自分に合っている方の校舎をお選びください。通塾校舎（拠点校）は生徒の担当講師を決める上で1校舎となりますが、拠点校以外の他校舎も自習利用や講師への質問ができます。また、休校日が異なる場合もありますので、開いている校舎を利用することができます。なお複数校舎併用でも追加料金は必要ありません。なお、三条高校前予備校は三高生専門の校舎となり、三高生に特化したサポートを行います。

Q9 通塾曜日は変えることができますか？（小中学生の場合）

A9 通塾曜日はいつでも変更できます。通塾回数の変更は1か月単位での変更となります。

通常月（季節講習以外）の通塾曜日は欠席時の振替授業を除き、いつでも変更することができます。通塾回数を変更される場合は学費が変更になりますので前月の25日までに連絡をお願いしています。高校生は面談日以外の決まった通塾曜日はありません。

Q10 保護者面談や説明会は必須参加ですか？

A10 いいえ、希望制です。

面談は個別で行い、お一人30～40分ほどです。一部の塾や教育機関のように短時間で学習状況のみをお伝えする場ではありません。たいいていのお子様は、塾での様子と家庭の様子は違うものです。面談時、ご家庭の様子や保護者様の要望や疑問点などよく聞かせていただいたうえで、塾でのお子様への指導に活かしていきたいと考えています。なお、受験生の場合は進路選択に関して、お子様の一存で決めるべきことではありませんので、ご心配なことがあればいつでもお気軽にLINE等でお知らせください。必要があれば都度個別にて面談を実施いたします。



Q1 1 曜日によって1か月間の授業回数が異なる場合、授業料の調整はありませんか？

A1 1 リゼミでは、年間学費を1か月当たりに等分して計算しているため増減はございません。

小中学部は入会時に面談にて通塾曜日を決めて通塾します。各校舎の休校日を除き、それぞれの曜日の年間規定回数は39回（8月は除く）となっています。どの曜日でも規定回数、または規定回数以上に設定していますので料金面での損失は生じません。

Q1 2 通塾日以外に自習はできますか？

A1 2 小学生以外に自習ができます。

リゼミでの「自習」とは、「講師に頼らず、周囲の生徒に迷惑をかけることなく、自ら進める学習」のことです。各校舎には「サイレントルーム」があり、原則質問も含め声を発することなく、まさに黙々と自習する教室があります。別室の講師に質問することもできますが、やるべきことを決めてあって自身で学習を進められる場合に利用することができます。自習室の利用に追加料金はかかりません。ただし、学習方法も含め、自分で学習内容を進めることが難しい（常時フォローがいる）、もしくはすぐに他の子に話しかけるなど自習が適さないと塾講師が判断した場合は、自習ではなく通塾日（授業日）を増やすようにお願いします。

Q1 3 学費の支払い方法を教えてください。

A1 3 毎月月末に請求書を郵送しますので、明細をご確認の上、ご指定の方法でご入金ください。

当月料金を当月8日までに所定の方法にてご入金いただきます。毎月の学費明細は「リゼミ通信」と「月間予定表」に同封して各家庭に郵送しますので、明細に誤りがないかご確認ください。支払い方法は「県内の金融機関（ゆうちょ銀行を除く）」の自動口座振替となります。口座振替は手数料無料で、毎月8日（当日が休業日の場合は翌営業日）に引落を行います。なお、口座振替手続き完了まで（1～2か月間）は郵便振替用紙でのご入金、もしくは当塾の金融機関口座に直接ご入金（手数料はご負担ください）をお願いいたします。

※自動振替が「三条信用金庫」の方は、初回の引落しができなかった場合15日に再振替を行います。

※残高不足で振替ができなかった場合は、25日までに当塾の金融機関口座に直接ご入金ください。（手数料はご負担ください）

Q1 4 季節講習（春期・夏期・冬期講習など）は参加必須ですか？（小中学生）

A1 4 はい。リゼミ生の季節講習等の受講は原則必須となります。

季節講習は、まとまった学習を進めることができる重要な期間です。また、季節講習は学校の授業が進まないため、復習（遡行学習）や予習に適しています。リゼミは成績を上げることに全力を尽くします。よって、季節講習は特別な事情（長期遠征や入院等）を除き、原則必須参加です。やむを得ない事情により参加日数が少ない場合は、事前に担当講師までご相談ください。

Q1 5 毎月の受講料以外にかかる費用はありますか？

A1 5 教室維持費、半期管理費があります。詳細は該当学年の料金表をご覧ください。

冷暖房代等や施設維持費等の教室維持費（諸経費）が必要です。また小中学生は教材費、教材印刷代、各種システム登録料等を含め年間管理費を前期（4月）と後期（10月）で分納していただきます（高校生は毎月の受講料に含まれています）。年度途中入会者は年間管理費を減額調整してご請求させていただきます。など休会中は月学費は発生しませんが、教室維持費と半期管理費は必要になります。

Q1 6 塾を辞めたい場合の手続きは？

A1 6 退会を希望する月の25日までに保護者様が直接ご連絡ください。

やむを得ない事情がある場合は1か月を越えない範囲で「休会」することができます。休会期間中は教室維持費のみご請求いたします。休会期間が1か月を越える場合や当塾を辞める場合は「退会」となります。退会日が月途中であっても当月の学費、入会金や年間管理費等の返金はございません。また、退会前に支払った各種検定料金も返金できませんが、申込済の検定は当塾（場合によっては公開会場）にて受検することができます。退会の場合、毎月25日までに保護者様より直接当塾までご連絡を頂いた場合、当月末日をもって退会となります。なお一度退会して再度入会する場合は改めて入会金が必要になりますのであらかじめご了承ください。なお、高校3年生は2月末で自動的に退会（卒業）となりますのでご連絡等は必要ありません。

お問合せからご入会までの流れ

①
STEP

電話でのお問い合わせ フリーダイヤル0120-000-701

①
STEP

保護者&お子様との面談（三者面談）の日時決定

②
STEP

個別説明会を実施（保護者様とお子様）

現状と目標の確認

現在の学習状況と志望校など。通塾する場合は、何を目的とするのか確認。

塾サービス説明

入会した場合の通塾曜日、時間の確認。
費用、支払い方法等の確認。

体験期間の確認

初回体験日時を決定。
「体験受講確認書」の提出。

③
STEP

体験受講

通常時【無料体験】（季節講習時を除く）

- ・体験期間 小中学生：1週間または通塾予定に合わせて2～3回
高校生：初回来校日から10日間

季節講習・特別期間【有料体験】（夏休みなどの長期休み期間）

- ・体験期間 講習時のコースによる
※体験（講習・特別期間）終了日前に継続確認をLINEにて確認いたします

④
STEP

本入会する場合の手続き

入会意思確認

お子様の意思として入会したいかどうかの確認。

受講確認書の提出 （入会申込書）

「受講確認書」に必要な事項を記入して、次回通塾時に提出。

初回学費納入

郵便振替用紙にて期日までに入金。次月以降は、金融機関からの引落し。

リゼミ通塾開始

※高校生の場合、STEP2とSTEP3は場合により、入れ替わる場合があります。

※STEP4では、保護者様が希望する場合は改めて保護者面談（入会面談）を実施いたします。